

第32回 通常 総会

議案書

2023年5月13日(土)

全国鐵構工業協会青年部会

目 次

議事次第	2
第1号議案 2022年度(令和4年)事業報告及び収支決算報告承認の件 (規約：第16条 第1項および 第12条 第4項)	3
第2号議案 役員改選 の 件 (規約：第9条)	13
第3号議案 2023年度(令和5年)事業計画及び収支予算承認の件 (規約：第16条 第2項)	14
第4号議案 2023年度(令和5年)会費承認の件 (規約：第20条 第2項)	16
会員規約	17

第32回 通常総会 議事次第

日時 2023年5月13日(土)
総会

1. 開 会
2. 会 長 挨 拶
3. 定足数の確認
4. 議 長 選 出
5. 議案の審議
 - 第1号議案 2022年度(令和4年)事業報告及び収支決算報告承認の件
(規約：第16条 第1項および 第12条 第4項)
 - 第2号議案 役員改選の件
(規約：第9条)
 - 第3号議案 2023年度(令和5年)事業計画及び収支予算承認の件
(規約：第16条 第2項)
 - 第4号議案 2023年度(令和5年)会費承認の件
(規約：第20条 第2項)
6. 議 長 退 席
7. 閉 会

第1号議案

2022年度(令和4年)事業報告および収支決算報告承認の件

2022年度事業報告

自 2022年4月 1日(令和4年)

至 2023年3月31日(令和5年)

1. 概 況

我々の生活に深くかかわり続けた新型コロナウイルス感染症でしたが、ようやく5類になることが決まり、徐々にではありますがコロナ禍以前の生活に近づいていく兆しが見えてきました。

全青会の活動としては、本年度も基本的にWEBでの理事会を重ね、事業報告委員会、ノズルチップSDGs委員会、チャンネル委員会などの各委員会活動や、情報発信についてはホームページやSNSを駆使しながら活動をしてまいりました。ここしばらく続いたコロナ禍においては、WEBを使用して、活動の連携の仕方など、非常にスムーズな進行も進めることができていると感じております。

令和4年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響もあり、対面での理事会は11月に岐阜で開催した1回のみとなりました。しかし、その1回でも全国から仲間が集結し、対面で理事会を開催できたことで、WEBでは感じ得ない会話ができ、意味があったと考えます。

本年度は統一テーマとして「鉄骨屋におけるSDGsとは」を掲げて全国の皆さんと共通のテーマでSDGsについて考えるきっかけとなりました。今後、社会からの要求にどのように対応するか、また業界としてどのようなことが考えられるかなど、みんなといっしょに考えていけたのではないだろうかと思えます。

ノズルチップ収集活動では、本年度も車いすの贈呈を実施することができました。これも全国の会員の皆様のご理解、ご協力があったことと深く感謝申し上げます。

さて、我々鉄骨業界においては、鋼材価格の上昇や、製品精度の高度な要求など環境は厳しさを増しております。引き続き我々の業界のPRを強化していくとともに、全国の仲間とのつながりをさらに密にし、連携を強化していきたいと思えます。

いよいよ来年は関東ブロックでの全国大会が予定されております。しばらく全国で一同に会しての大会を開催出来ておりませんので、しっかりと準備を進めていこうと思えます。

2. 庶務事項

会員数及び構成員数の動静 2022年4月1日 現在

会員数／構成員数 46会員／913名

(前年度) (46会員／917名)

3. 会議の開催

(1) 総会

第31回通常総会

日時：令和4年5月18日(水)

WEB会議

第1号議案 令和3年度(2021)事業報告及び収支決算報告承認の件
(規約：第16条 第1項および 第12条 第4項)

第2号議案 役員改選の件
(規約：第9条)

第3号議案 令和4年度(2022)事業計画及び収支予算承認の件
(規約：第16条 第2項)

第4号議案 令和4年度(2022)会費承認の件
(規約：第20条 第2項)

(2) 理事会

第1回 理事会 令和4年5月30日(水)
<Web会議>
1. 役割分担についての確認
2. 各ブロック事業報告についてスケジュールの確認
3. ノズルチップ活動の方針について
4. 溶接欠陥サンプルの貸出について
5. 全青会チャンネル委員会の今後の方針について
6. 各ブロックスケジュールについての確認
7. 全青会ホームページについて

第2回 理事会 令和4年6月21日(月)
<Web会議>
1. 各ブロック事業報告についての確認
2. ノズルチップ活動のスケジュールについて
3. 溶接欠陥サンプルの貸出状況について
4. 全青会チャンネルの公式LINEについて
5. 全青会ホームページ更新について
6. 全青会年間テーマについて協議
7. 全国会長会議の時間割について協議

第3回 理事会 令和4年7月26日(火)
<Web会議>
1. 各ブロック事業報告についての確認
2. ノズルチップ活動 寄贈先の選定について
3. 溶接欠陥サンプルの貸出状況について
4. 全青会チャンネルのSNSの発信の仕方について
5. 青年部研修会について
6. 全青会年間テーマについて
7. 全国会長会議について
8. 名刺作成の件について

- 第4回 理事会 令和4年8月22日(月)
＜Web会議＞
1. 各ブロック事業報告についての確認
 2. ノズルチップ活動 寄贈先の決定
 3. 溶接欠陥サンプルの貸出状況について
 4. 全青会チャンネルの活動状況の確認
 5. 青年部研修会について
 6. 全青会年間テーマについて
 7. 全国会長会議について
 8. 全構協三役と全青会三役の打合せについて
- 第5回 理事会 令和4年10月4日(火)
＜Web会議＞
1. 各ブロック事業報告についての確認
 2. ノズルチップ活動 寄贈車椅子の選定について
 3. 溶接欠陥サンプルの貸出状況について
 4. 全青会チャンネルの活動状況の確認
 5. 青年部研修会について
 6. 全青会年間テーマについて
 7. 全国会長会議について
 8. 全構協三役と全青会三役の打合せについて
 9. 対面理事会の件について
- 第6回 理事会 令和4年11月5日(土) 岐阜市グランバール岐山
＜対面理事会＞
1. 各ブロック事業報告についての確認
 2. 事業報告書のフォーマットの作成について
 3. ノズルチップ活動 SDGs 講習会について
 4. 溶接欠陥サンプルの貸出状況について
 5. 全青会チャンネルの活動状況の確認
 6. 全構協ワーキンググループについて
 7. 全青会年間テーマについて
 8. 全国会長会議について
 9. 全構協三役と全青会三役の打合せについて報告
 10. 9/30奈良で開催された「入熱パス間温度管講習会」について
- 第7回 理事会 令和4年12月6日(火)
＜Web会議＞
1. 各ブロック事業報告についての確認
 2. ノズルチップ活動 SDGs 講習会について
 3. 溶接欠陥サンプルの貸出状況について
 4. 全青会チャンネルの活動状況の確認
 5. 全構協ワーキンググループについて
 6. 全青会年間テーマについて
 7. 全国会長会議について
 8. 全国会長会議、総会ToDoリストの確認

- 第8回 理事会 令和5年1月12日(木)
＜Web会議＞
1. 各ブロック事業報告についての確認
 2. ノズルチップ活動 基金の換金状況の確認
 3. 溶接欠陥サンプルの貸出状況について
 4. 全青会チャンネルの活動状況の確認
 5. 全構協ワーキンググループについて
 6. 全青会年間テーマについて
 7. 全国会長会議について
 8. 全国会長会議委員会の立ち上げについて

- 第9回 理事会 令和5年2月13日(木)
＜Web会議＞
1. 各ブロック事業報告についての確認
 2. ノズルチップ活動 基金の換金状況の確認
 3. 義援金の件について協議
 4. 溶接欠陥サンプルの貸出状況について
 5. 全青会チャンネルの活動状況の確認
 6. 全構協との協議事項について
 7. 全青会年間テーマについて

- 第10回 理事会 令和5年3月27日(月)
＜Web会議＞
1. 各ブロック事業報告についての確認
 2. ノズルチップ活動 基金の換金状況の確認
 3. 義援金の件について協議及び承認
 4. 溶接欠陥サンプルの貸出状況について
 5. 全青会チャンネルの活動状況の確認
 6. 全構協との協議事項について
 7. 会長会議・総会について

(3) 三役会

- 第1回 三役会 令和4年 5月 6日(金)
＜Web会議＞
- 第2回 三役会 令和4年 6月15日(水)
＜Web会議＞
- 第3回 三役会 令和4年 7月11日(月)
＜Web会議＞
- 第4回 三役会 令和4年 7月21日(木)
＜Web会議＞
- 第5回 三役会 令和4年 9月12日(月)
＜Web会議＞
- 第6回 三役会 令和4年11月 2日(水)
＜Web会議＞
- 第7回 三役会 令和4年12月20日(火) 大阪 十三 プラザオーサカ
＜対面三役会＞

その他 活動 及び 参加事業

国際ウェルディングショー視察	令和4年 7月13日(水)	東京ビッグサイト
全構協事務局との意見交換会	令和4年 7月14日(木)	全構協 会議室
パス間温度管理講習会	令和4年 9月30日(金)	奈良県 大和高田市
全構協三役との意見交換会	令和4年10月18日(火)	鉄鋼会館

中部ブロック事業

「事業継続力強化計画」 合同研修会
令和4年11月 5日(土) 岐阜市グランベール岐山

北陸ブロック役員会

令和4年11月11日(金) 福井県福井市

4. 委員会活動実施状況

全青会チャンネル委員会

第1回 委員会 令和4年8月 1日(月)WEB会議

第2回 委員会 令和4年9月26日(月)WEB会議

1. 全青会理事会運営・議事録の作成し、タイムリーに発信いたしました。全国の動向や理事会の活動内容を会員の皆様へ発信いたしました。
2. YouTubeを通して、業界の認知度UPを実施いたしました。
3. 全青会の沿革などHPの更新を実施いたしました。

ノズルチップSDGs委員会

第1回 委員会 令和4年 6月15日(水) WEB会議

第2回 委員会 令和4年 7月 5日(火) WEB会議

第3回 委員会 令和4年 8月 2日(火) WEB会議

第4回 委員会 令和4年 8月31日(水) WEB会議

第5回 委員会 令和4年10月11日(火) WEB会議

第6回 委員会 令和4年11月21日(月) WEB会議

第7回 委員会 令和5年 2月 1日(月) WEB会議

第8回 委員会 令和5年 3月 2日(木) WEB会議

1. 全青会を中心に青年部のスケールメリットを生かし、我々が日々鉄骨を製作する上で発生するスクラップの中の「ノズルとチップ」を回収換金し、全国から集まったそのお金で、車椅子を購入し、本年度は障がい者スポーツをする子供たちに向けて寄贈しました。青年部の認知度及び各会員の繋がりを高める活動を行って参りました。
2. 2/6に発生したトルコ・シリアの震災による甚大な被害に対し、災害義援金として、日本赤十字社を通して、この活動で集まった一部を寄付させていただきました。この活動がSDGsを支援し、また多くの方に我々の業界をPRできるものと考え活動してまいりました。

事業報告委員会

1. 年4回の各ブロックの活動・事業報告・近況報告を取りまとめて全青会のホームページに掲載する。

内容

- ①都道府県青年部の活動報告
- ②近況報告・市況報告
- ③ブロックの活動報告
- ④構造設計者との交流活動の状況報告
- ⑤都道府県の青年部への協力依頼(仕事・青年部)・全青会への依頼、相談事

第1回 令和4年 4月～ 6月の事業及び活動報告 HP掲載 7月11日

第2回 令和4年 7月～ 9月の事業及び活動報告 HP掲載 10月10日

第3回 令和4年10月～12月の事業及び活動報告 HP掲載 1月16日

第4回 令和5年 1月～ 3月の事業及び活動報告 HP掲載 3月31日

5. 事業実施状況

- (1) SDGs勉強会 令和5年1月12日(木) WEB講習会
講習テーマ：「SDGs、カーボンニュートラルと中小企業の取り組み」
講師：(株)大垣共立銀行 法人営業部 地域戦略グループ 下條崇様
受講：全青会理事12名+ブロック長4名

6. 溶接欠陥サンプル貸し出し

1. 7月 愛知県青年部会
例会の講習会にて使用
2. 7月13日 東京ウェルディングショー
全構協 出展ブースに展示
3. 9月 5日 北海道 道央建鉄株式会社
社内勉強会に使用
4. 9月27日 茨城県組合
例会の講習会にて使用
5. 12月 8日 奈良県 上柿鉄工建設株式会社
社内研修会に使用
6. 1月16日 三重県(組合外企業)シンフォニアテクノロジー株式会社
X線透過装置による溶接欠陥の検出についての研究に使用
7. 2月 2日 三重県 株式会社渡辺鉄工
JSCA中部鉄構系部会講習会にて使用

8. 2月13日 株式会社日伸鉄工建設
東京都国際フォーラム町工場見本市 出展ブースにて展示
9. 2月18日 奈良県 上栢鉄工建設株式会社
社内研修会に使用

※詳細の使用状況については、全青会HPの活動報告を参照
<http://www.jsfa-y.gr.jp/>



収支決算報告書

自 2022年4月 1日(令和4年)

至 2023年3月31日(令和5年)

【収入の部】(単位:円)

科 目	令和4年度予算	収入実績	摘 要
会費収入	1,350,000	1,380,000	平等割 @30,000×46会員、 (会員数:46会員・構成員:913名)
雑収入	200	47	預金利息
当期収入計	1,350,200	1,380,047	
前期繰越金	4,313,427	4,313,427	
合計	5,663,627	5,693,474	

【支出の部】(単位:円)

科 目	令和4年度予算	収出実績	摘 要
総会費	400,000	0	第32回通常総会
全国理事会費	2,800,000	605,180	会場費・交通費、他
事業費(全国会長会議)	400,000	55,770	WEB講座・YOUTUBE広告費他
委員会活動費	800,000	132,630	WEB会議推進助成金他
HP運営維持管理費	100,000	136,625	HP運営維持管理費、他
ブロック事業出向費	300,000	49,780	各ブロック事業出向交通費、他
事務・通信・雑費・他	200,000	72,850	一般事務用品・郵送費・印刷費、慶弔費他
当期支出計	5,000,000	1,052,835	
予備費	663,627	0	
次期繰越金	0	4,640,639	
合計	5,663,627	5,693,474	

2020年度慈善活動	1,674,880	日本パラ陸上競技連盟
2021年度慈善活動	2,047,080	日本車椅子テニス協会
2022年度慈善活動	2,006,270	NPO法人パラキャン
2022年度慈善活動	300,000	公益財団法人日本ユニセフ協会
ノズルチップ余剰金合計	1,647,599	

全国鐵構工業協会 青年部会 2022年度会員数及び会費収入
実 績 表


No.	会 員 名 称	構成員数	増減	平等割	差等割	合 計
1	(一社)北海道機械工業会鉄骨部会 北海道 FAB 青年部会	33	2	30,000	—	30,000
2	青森県鉄工連協同組合 青年部会	24	1	30,000	—	30,000
3	岩手県鐵構工業協同組合 青年部	18	1	30,000	—	30,000
4	宮城県鐵構工業協同組合 青年部	25	0	30,000	—	30,000
5	秋田県鐵構工業協同組合 青年部会	16	0	30,000	—	30,000
6	山形県鉄構工業組合 青年部	19	0	30,000	—	30,000
7	福島県鉄構工業組合 青年部	28	0	30,000	—	30,000
8	茨城県鐵構工業協同組合 青年部会	17	3	30,000	—	30,000
9	(一社)栃木県鉄構工業会 青年部	24	2	30,000	—	30,000
10	群馬県鐵構業協同組合 青年部	33	0	30,000	—	30,000
11	埼玉県鐵構業協同組合 青年部会	27	-2	30,000	—	30,000
12	協同組合千葉県鐵骨工業会 青年部会	14	0	30,000	—	30,000
13	東京鉄構工業協同組合 青年経営者委員会	16	-2	30,000	—	30,000
14	神奈川県鉄構業協同組合 青年部会	27	-3	30,000	—	30,000
15	新潟県鉄骨工業組合 青年部会	5	0	30,000	—	30,000
16	(一社)山梨県鉄構溶接協会 青年部会	15	0	30,000	—	30,000
17	長野県鐵構事業協同組合 青年部会	14	0	30,000	—	30,000
18	富山県鉄構工業協同組合 青年部会	22	4	30,000	—	30,000
19	石川県鉄骨工業協同組合 青年部会	17	1	30,000	—	30,000
20	福井県建設鉄工協同組合 青年部会	16	3	30,000	—	30,000
21	岐阜県鐵構工業協同組合 青年部会	26	-1	30,000	—	30,000
22	静岡県鐵構工業協同組合 青年部会	25	0	30,000	—	30,000
23	愛知県鉄構工業協同組合 青年部会	22	-1	30,000	—	30,000
24	三重県鐵構工業協同組合 青年部会	20	0	30,000	—	30,000
25	滋賀県鐵構工業組合 青年部会	15	3	30,000	—	30,000
26	京都府鉄構工業協同組合 青年部会	27	-2	30,000	—	30,000
27	大阪府鉄構建設業協同組合 青年部会	38	-3	30,000	—	30,000
28	兵庫県鉄工建設業協同組合 青年部会連絡協議会	62	-4	30,000	—	30,000
29	奈良県鉄構建設業協同組合 青年部会	11	-3	30,000	—	30,000
30	和歌山県鉄構工業協同組合連合会 青年部会	13	-5	30,000	—	30,000
31	協同組合鳥取県鉄構工業会 青年部会	10	10	30,000	—	30,000
32	島根県鐵構工業会 青年部会	15	0	30,000	—	30,000
33	協同組合岡山県鉄構工業会 青年部会	16	-3	30,000	—	30,000
34	協同組合広島県鉄構工業会 青年部会	25	0	30,000	—	30,000
35	山口県鉄構工業組合 青年部会	16	2	30,000	—	30,000
36	徳島県鉄骨構造協同組合 青年部	16	0	30,000	—	30,000
37	香川県鋼構造協同組合 青年部	19	-1	30,000	—	30,000
38	協同組合愛媛県鐵構工業会 青年部会	15	0	30,000	—	30,000
39	協同組合高知県鉄構工業会 青年部会	18	1	30,000	—	30,000
40	工業組合福岡県鉄構工業会 青年部	17	-3	30,000	—	30,000
41	協同組合佐賀県鉄構工業会 青年部会	9	-1	30,000	—	30,000
42	協同組合長崎県鉄構工業会 青年部会	15	0	30,000	—	30,000
43	協同組合熊本県鉄構工業会 青年部会 (休会)	0	0	—	—	—
44	協同組合大分県鉄構工業会 青年部会	9	-1	30,000	—	30,000
45	協同組合宮崎県鉄構工業会 青年部会	18	0	30,000	—	30,000
46	協同組合鹿児島県鉄構工業会 青年部会	16	-4	30,000	—	30,000
47	協同組合沖縄県鉄構工業会 青年部会	10	2	30,000	—	30,000
	合 計	913	-4	1,380,000	—	1,380,000

2022年度は上記の通り会費を納入して頂きました。(単位: 円)

監査報告

2022年4月1日より2023年3月31日までの、理事会より提出された2022年度事業報告並びに収支決算書について、関係諸帳簿を詳細に監査した結果、その内容が適正に執行されていることを報告いたします。

2023年 4月 1日

監事 北川 亮 

監事 池田 和隆 

第2号議案

役員改選の件

四国ブロック宮脇監事退任に伴い期の途中ではありますが、交代監事の選任を求めます。
任期は2023年度総会までと致します。

役職名	第16期理事名	所属ブロック	所属青年部会名
監 事	谷本 匡朗	四国ブロック	香川県鋼構造協同組合 青年部

第3号議案

2023年度（令和5年）事業計画及び収支予算承認の件

2023年度事業計画

1. 基本方針

我々、全国鉄構工業協会青年部会(全青会)は、1992年に発足し、今年で32年目を迎えることになりました。新型コロナウイルス感染症もすでに数年が経過し、WEBでの活動やコミュニケーションの取り方など活動の幅も大きく広がってきました。

近年の業界といたしましては、2022年暦年の全国推定鉄骨需要量は前年対比4.2%減の約443万トンとなりました。上期の1.4%増に対して下期は9.5%減となり、後半に失速する展開となりました。新型コロナウイルス感染症の影響や、ウクライナ戦争の勃発などによる各種建設コスト高騰の影響が響いており、特に中小物件の工期延期、中止、発注見合わせなどの動きがみられました。

2023年度も、人材不足や図面承認の遅れ、建設コストの上昇や、SDGsや残業規制などへの対応など、あらゆる環境で厳しい状況が続くことが予想されます。全青会としては本年度も「みんなといっしょに」いろいろな諸問題に取り組んでいきたいと思えます。

本年度もホームページやSNSを中心に情報発信を密にし、会員相互の情報共有についてのスキルを高めていき、各青年部会が各都道府県組合との連携や、全青会と全構協との連携も特に密にしていけるよう打ち合わせを続けていきたいと思えます。

鉄骨業界が世の中に必要とされていることを認識し、さらに一般の人にもわかっていただけるように更なるアピールを重ねて、業界としての地位をどんどん上げていきたいと思えます。

本年度も全国の青年部会の皆さんとともに学び、ともに連携し、活動していきたいと思えます。皆様もより一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

2. 事業計画

- (1) すべての青年部会員に情報がタイムリーに伝えられるよう、各地区の情報(緊急性を要するものを含む)を吸上げ、情報共有をできる体制を確立し、早急な情報発信に努めて参ります。
- (2) ホームページ及びSNSを中心として、情報発信(各ブロック活動報告、溶接欠陥サンプル貸出)をこまめに行い、青年部会員の活動の一助として参ります。
- (3) ノズルチップ収集活動を継続事業として実施し、活用法等含め検討をして参ります。
- (4) 全構協及び、各都道府県組合との連携を密にし、各種活動における情報の共有を行い、施策や活動について分かりやすい形で見える化してまいります。

2023年度収支予算

自 2023年4月 1日(令和5年)

至 2024年3月31日(令和6年)

【収入の部】(単位:円)

科 目	2023年度予算	摘 要
会費収入	3,206,000	平等割 @30,000×46会員 差等割 @ 2,000×913名 (会員数:46会員・構成員:913名)
雑収入	61	預金利息
当期収入計	3,206,061	
前期繰越金	4,640,639	
合計	7,846,700	

【支出の部】(単位:円)

科 目	2023年度予算	摘 要
総会費	800,000	第32回通常総会、会長会議(近畿開催)
全青会理事会費	3,600,000	会場費・交通費 他 理事会4回開催予定
委員会活動費	1,200,000	委員会活動費 他
HP運営維持管理費	150,000	HP運営維持管理費、他
ブロック事業出向費	1,000,000	各ブロック事業出向交通費、他
事務・通信・雑費	200,000	一般事務用品・郵送費・印刷費、他
当期支出計	6,950,000	
予備費	896,700	
合計	7,846,700	

ノズルチップ慈善活動費 繰越金		
	1,647,599	

第4号議案

2023年度（令和5年）会費承認の件
2023年度（令和5年）の会費は下記の通り徴収する。

1. 会 費

- | | | | |
|---------|------------|-----|----------|
| (1) 平等割 | 1団体 | 年 額 | 30,000 円 |
| (2) 差等割 | 所属構成員1名につき | 年 額 | 2,000 円 |

2. 徴収方法

差等割の徴収対象は、2023年4月1日現在の各団体会員数を原則とする。
第32回通常総会終了後、請求書を各都道府県組合宛に本会より送付する。
会費の全額は、2023年8月31日までに本会会計宛に振り込むこととする。

2. 徴収方法

銀行名 紀陽銀行 湯浅支店（銀行コード0163 支店番号541）
口座番号 普通 884353
口座名 全国鐵構工業協会 青年部会
（ゼンコクテッコウコウギョウキョウカイ セイネンブカイ）

全国鐵構工業協会青年部会 会員規約

制定：平成 4年4月17日
改訂：平成 6年5月13日(第1回)
改訂：平成 7年4月14日(第2回)
改訂：平成13年4月21日(第3回)
改訂：平成15年4月19日(第4回)
改訂：平成18年4月15日(第5回)
改訂：平成28年4月16日(第6回)
改訂：平成29年4月21日(第7回)
改訂：平成30年9月21日(第8回)

第1章 総 則

(目 的)

第1条

本会は、青年経営者及び若手後継者などが組織を通じて一堂に会し、広い視野からその交流の輪を広げながら企業活動のより一層の活発化を図り、あわせて業界振興に寄与することを目的とする。

(名 称)

第2条

本会は、全国鐵構工業協会青年部会と称する。

(地 区)

第3条

本会の地区は、47都道府県とする。

第2章 事 業

(事 業)

第5条

本会は、第1条の目的を達成するため次の事項を協議し、推進を図る。

- (1) 会員の資質・経営・技術等の向上を図るための各種講演、講習、セミナーの開催
- (2) 各種調査研究事業の実施
- (3) 事業に対する協力及び意見具申
- (4) 会員の福利厚生に関する事業
- (5) 会員相互の親睦を図るための交流交歓会の開催
- (6) その他目的達成のために必要な事業

第3章 会 員

(会員の資格)

第6条

全国鐵構工業協会青年部会の会員たる資格は、(一社)全国鐵構工業協会正会員の青年支部又は、これに相当する団体とする。

(加入・脱退)

第7条

本会の会員たる資格を有する者は所定の加入手続きにより加入する。
会員は、あらかじめ本会に通知したうえで脱退することができる。

(届 出)

第8条

会員は、その名称、所在地、代表者の氏名及びに構成員数に変更があった場合は、その旨を本部に届け出なければならない。

第4章 役 員

(役員の数)

第9条

本会に次の役員を置く。

- (1) 理事9名以上、13名以内
- (2) 理事の内1名を会長、副会長を3名以内、会計を2名以内として理事会において選出する。
- (3) 理事会において、会員の中より監事を2名選出する。

(役員任期)

第10条

役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(役員選任)

第11条

役員は、総会において選任する。

(役員職務)

第12条

会長は、本会を代表し、会務を執行する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故のある時はその職務を代行する。
- 3 会計は、本会の会計業務を行う。
- 4 監事は、会計を監査し、総会にその結果を報告する。

(相談役)

第13条

本会に相談役を置くことができる。

- 2 相談役は、役員会の議決を経て会長を委嘱する。

第5章 総会及び役員会

(総会)

第14条

総会は、会員を持って構成し、会長が召集する。

- 2 総会は、通常総会及び臨時総会とする。
- 3 通常総会は、毎年1回、事業年度終了後2ヶ月以内に開催する。
- 4 臨時総会は、会長が必要と認めたときに開催する。

(議会の議事)

第15条

議長の選出は理事会の互選による。

- 2 総会の議事は、出席会員の過半数で決するものとし、可否同数のときは、議長が決する。

(議会の議決事項)

第16条

総会は次の事項を議決する。

- (1) 事業報告並びに収支決算
- (2) 事業計画並びに収支予算
- (3) 会費の額及びその徴収方法の決定
- (4) 役員を選任
- (5) 規約の設定並びに変更
- (6) その他本会の運営に関する重要な事項

(議事録)

第17条

総会の議事については、議事録を作成しなければならない。

(役員会)

第18条

役員会は、役員をもって構成し必要に応じ会長が召集し、かつ議長を務める。

- 2 役員会の議事は、出席役員の過半数で決するものとし、可否同数のときは議長が決する。

(役員議決事項)

第19条

役員会は、この規約で定めるもののほか、次の事項を議決する。

- (1) 総会の提出する議案
- (2) その他本会の業務の執行に関する事項

第6章 会 計

(会 費)

第20条

本会の会費は、賦課金、助成金、その他の収入をもって充てる。

2 前項の会費の額及び徴収方法については、総会において決定する。

(会計年度)

第21条

本会の会計年度は、毎年4月1日より始まり翌年3月31日で終わるものとする。

第7章 補 則

(委 員 会)

第22条

本会は、第5条に掲げる事業を推進するために、その目的とする事業を定め、当該事項に関して、調査、研究、審議し又は決定するための委員会を設けることが出来る。

2 委員会は、委員長、副委員長、各1名及び若干名を持って構成する。

3 委員会の委員長及び副委員長は、当該委員会の委員の互選によりこれを定め、委員は委員会の目的とする事項について、専門的な知識又は経験を有する者のうちから、委員を委嘱する事を妨げない。

4 委員会の委員長は、会長が必要と認めた場合は、役員会に出席し、委員会に関する事項についての報告をするものとする。

(そ の 他)

第23条

この規約に定めのない事項であって、緊急かつ必要な事項は、役員会において決定する。

付則

この規約は平成31年4月21日から施行する。

MEMO
